

令和 8 年度第 2 回守山市都市計画審議会の概要

- 1 開催日時 令和 8 年 9 月 3 日（木） 午前 9 時 30 分から午前 11 時 30 分まで
- 2 開催場所 守山市役所 2 階 防災会議室
- 3 出席者 委 員：9 名中 7 名
傍聴者：3 名
- 4 議題
 - (1) 協議第 1 号：守山市都市計画マスタープランの原案について（公開）
 - (2) 協議第 2 号：守山駅周辺の都市計画のあり方について（非公開）
- 5 審議結果
諮問事項なし
- 6 意見概要

【協議第 1 号】守山市都市計画マスタープランの原案について

委 員：ガイドラインの見直しの方針、特に用途を追加して有効な土地利用を図ってきたいという趣旨は理解した。最低面積や高さ制限はどのように見直されるのか。詳細の説明を求める。

事務局：次回審議会で詳細を説明する。

委 員：市民交流ゾーンは、個別の開発で道路に面する土地が埋まりつつあり、中の土地しか残っていないところもある。中の部分を開発する場合、道路へどう接続するかは重要で、災害防災面から袋路は避けないといけない。道路の開発は民が行うのか、公が行うのか。

事務局：基本的には民間事業者の発意から地区計画が都市計画決定されるため、民間が開発することになる。道路への接続や幅員等はガイドラインで定め、それが守られた形で地区計画を決定していく。

会 長：市街化調整区域で地区計画を作って開発をするということであれば、袋路は基本的に存在しないように、地区施設として道路は必ず整備を前提にする。

委 員：レインボーロード沿道ゾーンはすでに渋滞が発生している交差点が近接している。物販店等を用途追加するならば、安全性と渋滞緩和の視点から、店舗の入り口を下げてもらうような形にしてもらいたい。地区計画による渋滞問題を解決してから北側に産業集積地ができるような形であれば、現状発生している渋滞への対策もクリアにもなる。

事務局：まずは渋滞が起きないような視点で、渋滞対策をしっかりと考えていく。

委員：守山市都市計画マスタープランの原案中に「交通」に関する記載があるが、公共交通に「乗って残そう」という視点は書かなくてよいのか。

事務局：詳細までは書ききれない部分があるが、「バス路線最適化や様々な交通手段で持続可能な交通網を形成・充実していく」など、今考えている柱となる視点を記載している。また、徒歩や自転車も含めた様々な交通手段や来訪型サービスなども含めて検討していく視点も追記している。

委員：「シェアリングエコノミー」の概念を追加してもらいたい。シェアサイクルやシェアカー、駐輪場や駐車場のシェアなど実証実験が進んでいる分野を記載したうえで、「先進的な取組」の記載があれば違和感がない。

事務局：どのように表現できるか検討したい。

委員：市の都市計画の最上位プランとして都市計画マスタープランがあることは、常日頃から市民にお伝えする必要がある。パブリックコメントに関心を持っていただくだけでなく、日頃から都市計画マスタープランに基づいて都市づくりを行っていることを周知していくことが、市民の関心を集めるのに一番効果的ではないかと思う。

委員：4ページの概要版は、必要な情報が凝縮されているが、分かりやすさの点では改善の余地がある。イラストを活用するなどして、都市計画マスタープランに興味を持ってもらうという視点でレイアウトを行うとよい。

委員：子どもにもわかるような工夫で都市計画マスタープランを周知していくのが良い。

事務局：計画が決まった時だけではなく今後の進捗も含めて、広報、発信をしていくことが課題と捉えている。パブコメのためだけではなく、パブコメ後も市民に都市計画を自分事として捉えてもらうために、長いスパンでの広報を検討したい。